

令和3年度塩竈市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

イ. 処理状況

本年度の下水道事業の年間総処理水量は、7,804,355 m³(21,382 m³/日)で、前年度 7,849,640 m³(21,447 m³/日)に比較して 45,285 m³(65 m³/日)0.57%減少しました。

年間有収水量は、6,028,621 m³(16,517 m³/日)で、前年度 6,135,038 m³(16,762 m³/日)に比較して 106,417 m³(245 m³/日)1.73%減少しました。

有収率は、77.25%で、前年度 78.16%に比較して 0.91 ポイントの減となりました。

年度末の処理区域内戸数は、23,797 戸で、前年度 23,781 戸に比較して 16 戸 0.07%増加しました。

ロ. 建設改良の状況

○ 建設改良事業

主な改良工事として、藤倉3号雨水幹線築造工事 延長 24.50m、袖野田町地区と玉川地区、芦畔町で計 3 か所に宅内貯留施設設置工事を実施し、旭町地区で上ふた式 U 字側溝等、総延長 40.0m、越の浦雨水ポンプ場の設備改築工事の雨水管設置工事などを実施しました。

○ 災害復旧事業

本事業は、下水道施設等の災害復旧事業補助金の交付決定に基づき実施する事業です。

本年度の公共下水道事業は、平成 31 年度繰越分として、藤倉汚水ポンプ場電気設備汚水系制御装置等更新工事と遠方監視設備子局装置更新工事を実施しました。令和2年度繰越分として、北浜地区で雨水地下貯留施設及び総管渠延長 1,251.03m の管布設工事を実施しました。

ハ. 財政状況 * ()内は税込決算数値

本年度の収益的収入は、4,570,706,221 円(4,686,913,222 円)となりました。これは、営業収益で 1,765,695,508 円(1,878,212,562 円)及び営業外収益で 2,756,549,802 円(2,760,221,265 円)、特別利益で 48,460,911 円(48,479,395 円)によるものです。

収益的支出は 3,956,854,211 円(4,052,658,287 円)となりました。これは、営業費用で 3,563,298,278 円(3,611,069,848 円)及び営業外費用で 316,041,448 円(363,934,148 円)、特別損失で 77,514,485 円(77,654,291 円)によるものです。

これらの結果、本年度は 613,852,010 円の純利益を生じ、利益剰余金は 613,852,010 円となりました。

資本的収支は、総収入 2,611,359,090 円(うち仮受消費税 0 円)に対し、総支出 4,118,439,530 円(うち仮払消費税 71,434,580 円)となり、収入不足額(翌年度へ繰越される支出の財源に充当する額 77,670,000 円を除く。) 1,584,750,440 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 15,810,969 円、当年度分損益勘定留保資金 929,850,841 円、繰越工事資金 50,553,472 円、繰越利益剰余金処分量 44,555,105 千円、当年度利益剰余金処分量 543,980,053 円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

令和3年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、有収水量の減少に伴う下水道使用料の減少に対し、管渠整備などに伴う固定資産減価償却費の減少や支払利息の減少により前年度比 2.86 ポイント増の 116.57%となり、健全経営の水準とされる 100%を上回っています。また、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比 3.58 ポイント増の 61.75%となり、汚水処理に係る費用のうち使用料で賄うべき費用を賄っている状況とされる 100%を下回っています。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 3.83 ポイント増の 7.89%となっており、北浜地区の災害復旧事業による管渠更新等の完了によります。今後も、現在の経営状況を維持しつつ、将来訪れる施設更新需要に備えた運営を行ってまいります。

<経営指標の推移>

	R2	R3
経常収支比率	113.71%	116.57%
経費回収率	58.17%	61.75%
有形固定資産減価償却率	4.06%	7.89%

